

会 議 録

1 会議名

平成29年度第8回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

平成29年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成29年8月30日（水）午後6時00分から午後7時30分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
青山義一、泉 秀夫、磯田一裕、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、
久保田幸正、小林克美、田中美佳、田村利男、田村雅春、中澤武志、
町屋隆之、丸山朝安（欠席1名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、星野主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：町屋委員、青山義一委員に依頼

議題【協議事項】平成29年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料No.1 「平成29年度地域活動支援事業（追加募集）【直江津区】採点総括表」、
 - ・資料No.2 「平成29年度地域活動支援事業（追加事業）その他特記事項等一覧」
- に基づき委員による採点結果について説明

本日は、資料No.2の特記事項について協議の上、協議会の意見として提案者へ伝えるかどうかを決めていただきたい。

【青山恭造会長】

では、採点の結果、不採択となった事業から協議していきたいと思う。

不採択事業についてだが、事務局から提案者へ結果をお知らせするにあたり、協議会として不採択とした理由と、次回、事業提案する際の考え方などについて皆さんから意見をいただきたい。

では、「No.4 《直江津港から元気発信》事業」について、何かあるか。

【泉委員】

当提案の質問に対する回答はとても熱が入っているものだった。それほど思いが強いのであれば、何故当初の募集で提案しなかったのか。

【町屋委員】

当初募集で提案するか、追加募集で提案するかは、地域協議会側の思いはあるが、提案する側からすれば、そこまでは検討していないのではないか。

【泉委員】

果たしてそうだろうか。周りから話を聞いたり、地域協議会委員に聞いたり、皆さんそれなりに準備している。追加募集や三次募集で出すというよりも、金額も高いので当初の募集で提案していただきたかったと感じた。

【田村雅春委員】

不採択にした理由は2つあると思う。

1つ目は、担当課からの所見で「課題あり」という回答が来たこと。

2つ目は、当事業はほとんど設置会社や管理者に任せきりで、果たしてこれが地域活動支援事業に値するのか、ということに疑問を感じた。少しずつでも努力して、自分たちの活動が伴えば、また評価が違って来たと思う。

【町屋委員】

提案書の「期待する効果」の欄に『佐渡の魅力の一つである「千年杉の在る原生林」と

新水族博物館を融合させたモニュメント水槽を展示し…』とあるが、佐渡汽船のターミナル内に設置したことで直江津への回遊や新水族博物館に繋がるのかという部分が非常に懐疑的だった。

あとは、佐渡汽船ターミナルに水槽を設置するという事業でしかないのではないかと感じた。

【磯田委員】

事業の目的は、非常に素晴らしいが、果たして水槽を造ることによって、それが実現できるのか、あるいは、広く波及していったら直江津が元気になるのか、というところに疑問を感じた。

当提案に対し7名の方が30点以上を付けているが、その方の意見を聞いて共有し、理解したいと思っている。議論を十分尽くすという意味においては、反対した方の意見、賛成の方の意見、両意見を聞きたいと思っている。

【泉委員】

今は、不採択となった理由を提案者へ伝えるために皆さんで意見を出し合っている場なので、その話はまた別の話なのではないか。

【青山恭造会長】

参考までにお話しするが、9月から佐渡汽船も「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」の一員になった。直江津駅のまちなか水族館も上越商工会議所の経費で造った。

【町屋委員】

まちなか水族館が直江津駅にあるなら佐渡汽船にあっても良いのではないかと思ったが、実際問題、同じように思えない。直江津駅に来た方は駅内にある水槽を見て「このまちなか水族館があるのか」と思うかもしれないが、これから佐渡へ行こうとしている人たちにPRするというのはターゲットが違うのではないか。しかも、そこでアピールするものが佐渡の原生林というのもおかしいのではないか。

【泉委員】

直江津の採択方針として「ソフト事業を優先的に採択する」という文言があったかと思う。そのために必要なハード事業であれば採択すべきだと思っている。ハード事業を利用して地域住民の行動を促そうという思いが底辺にあったのではないか。

【中澤委員】

私は維持管理に不安を感じたので特記事項を書かせていただいた。

【田村雅春委員】

一つ気になったのが、設置期間が5年間ということだった。

【青山恭造会長】

では、文言整理については事務局と正副会長で考え提案者へ伝えたいと思う。

【小林委員】

いろいろな課題はあると思うが、佐渡が世界遺産を目指して頑張っているので、佐渡の対岸でも応援しているというようなエールを送る一つの形ではないかと思い、私は30点以上を付けさせていただいた。

【青山恭造会長】

では次に採択された各提案の特記事項について順番に協議していきたいと思う。

最初に「No.1 福島城の顕彰事業（追加事業）」について、意見等はあるか。

【泉委員】

お客様を迎えるための常設トイレではないということが引っ掛かる。

【町屋委員】

あえて文書で伝える必要はないのではないか。文書だと重く受け止めてしまうかもしれない。今回の採択によって今後3か月間だけが担保されただけであって、それ以降どうするかは何も決まっていないと思う。常設トイレの件については口頭でも構わないので伝えていただければ良い。

【泉委員】

重く感じるかもしれないが、それが私たちの思いである。皆さんの福島城に対する思いは随分大きなものだと思っているので、書き方次第で、むしろ文書のほうが我々の意思としては良く伝わるのではないか。

【青山恭造会長】

私は2行目に書かれている文言が一番良いと思っている。皆さんはどうか。

（異議なし）

では、次に「No.3 直江津地域伝統文化伝承・保存事業」について、意見等はなるか。

【田村利男委員】

口頭でも良いので、再度提案者へ確認しても良いのではないか。

【小林委員】

質問票で、タイピン型ワイヤレスマイクが「レンタルでの対応はできないか」という質問

に対し、きちんと答えられていない。レンタルができるのか、できないのかだけでも確認する必要があるのではないか。

【町屋委員】

質問に対する回答を見ていると、買うことが前提で、レンタルは考えていないのではないか。セットでレンタルもあるだろうし、ピンマイクだけでもあると思う。受信もワイヤレスマイクを持っている学校なら間違いなく受信設備もあり、ワイヤレスをピンマイクに置き換えれば良いだけである。レンタルで全てが対応できると思うが、回答が曖昧になっている。

【泉委員】

私は、買いたいのであろうと思ったので、それに賛成した。次年度には、スピーカーを購入する提案が出てくるのではないかと考えている。

【町屋委員】

当団体が必要なものを買って、今後の管理については学校で保管するということが、当事業を実施することにおいて、学校の備品が増えることとイコールのような話なのではないか。

【青山恭造会長】

資料に記載されている文言は、こういう意見もありました、というくらいで良いのではないか。

【田村雅春委員】

特記事項に書かれている文言は、採択条件なのではないか。

【町屋委員】

この文言を生かすということは減額して採択ということになるのではないか。

【中澤委員】

混乱してきているが、ピンマイクについて賛成か反対か、皆さんに諮れば良いのではないか。

【滝澤センター長】

特記事項を生かすということになると、減額して採択となる。皆さんに賛成か反対かを聞いていただき、賛成多数であれば減額採択となる。

【田村雅春委員】

諮る前に一つ確認させていただきたい。ピンマイクを購入すると学校の備品になるのではないか。

【荒木係長】

備品を学校に保管してもらい、管理は提案団体ということである。

【滝澤センター長】

学校の備品を買うとなると市の事業となるので、地域活動支援事業としては認められていない。だが、今回のように提案団体が自分たちの備品として購入し、学校に保管することについては、学校が了承すれば認められる。

【町屋委員】

私は単発の事業である限り、レンタルで対応すべきであると思っている。

【泉委員】

当初の特記事項の取扱いとしては、必ず特記事項で言われた意見についてはやらなくてはいけなかった。今回、資料に書かれている特記事項を守らないと不採択になるということにならないか。

【増田副会長】

勘違いしては困るが、特記事項を付けるか、付けないかと採択、不採択は直結していない。

【泉委員】

ピンマイクを不採択にされたら事業が出来ない、と提案者側が言ってきたらどうするのか。

【増田副会長】

回答には「事業の充実のために購入させていただきたい」と書いてあるが、ピンマイクがないと事業ができないとは書かれていない。そのことに関して私たちがどのように考えるかである。

【町屋委員】

資料No.2に書かれている特記事項はあくまでも個人の意見である。今は、それを地域協議会の意見として提案者へ伝えるか伝えないかを諮っている。

【伊藤委員】

私たちは、提案書や回答を見て自分で判断し採決している。特記事項に書いてある事柄は個人の意見であり、それを今どうするかと言われても困ってしまう。

【青山恭造会長】

この意見は、採択された方が書いている。

【伊藤委員】

それは分かるが、全てを飲み込んで採択したのではないか。

【増田副会長】

個人の意見として出しているが、その意見を提案者へ伝えるか伝えないかを決を採ってもらおう。そして、意見に賛成の方が多数の場合、この意見は生きる。少ない場合は、この意見はなしということになる。それが地域協議会としての意見になる。

【町屋委員】

今回のピンマイクについては賛成している方が多いようだが、今まで備品の管理に関して厳重に言ってきたと思う。そこに関しては、今回一切言及されていない。特記事項として載せないのであれば、学校の備品ではないということはきちんと伝えていただきたい。

【青山恭造会長】

では、採択条件として載せるか、載せないかについて採決を取りたいと思う。

- ・協議の結果、特記事項として提案者へ伝えることに決定

では、特記事項として提案者へ伝えることとする。

【小林委員】

「タイピン型ワイヤレスマイクはあるものを活用できると思いますので…」と書かれているが、「あるもの」となるとレンタルになる可能性があり、レンタル料が発生するかもしれない。一概に減額というのはできないのではないか。

【磯田委員】

もし、その意見を採用してしまうと、逆に提案者側がどのように解釈していいのか分からなくなるかもしれない。採点の結果、採択されているのに中途半端な特記事項を提示してしまうと分からなくなってしまう。

【田村利男委員】

関係ないかもしれないが、受益者負担をどのように考えるかである。入場者料金を増やして事業を行うということも考えられる。

【町屋委員】

小林委員が発言されたレンタル購入の件だが、「レンタルで対応できないか」という質問に対して「レンタルで対応します」という回答が返ってきた場合、新たにレンタルでの見積もりを取り、再度見積もりを提出しての採決、ということも考えられるのか。

【青山恭造会長】

可能である。

【町屋委員】

そうであれば、この場で金額が決まっていなくて採決できないと思うが、その場合はどうなるのか。

【泉委員】

場合によっては、購入よりもレンタルのほうが高くなることも有り得る。

【滝澤センター長】

備品購入についてはまずレンタルから考える。そこを検討してから提案してください、ということになる。だが、今回はレンタルではなく、購入として提案されてきている。

ほかのやり方が良いのではないかという意見だが、提案者側も自分たちで考えてきて提案されているので、それに対して採択か不採択かで決めていただきたい。

そして、ピンマイクが認められなければ事業ができないというのは提案者の判断になる。

【町屋委員】

ではこの場で「レンタルであれば採択する」という結論は一切ないということでしょうか。

【磯田委員】

当案件に限らず、提案者が出してきた提案に対して、「A案よりもB案のほうがより効果が上がる」や「直江津区全体を考えた時にこちらにしてもらいたい」というような対案を出してはいけないということになっていると思う。

【丸山委員】

小林委員がレンタルという話を出したから今のような議論になっているが、特記事項の文言だけ見れば「レンタル」という言葉はないので、何も考えず、特記事項に記載されている意見だけをどうするか考えれば良いのではないか。そして、採決を取った結果、特記事項として伝え、減額して採択になったのだからそれだけで良いのではないか。

【青山恭造会長】

では、先ほどの採決のとおり、当提案については、減額して採択とする。

次に「No.5 直江津まちしるべ修繕事業」については、業者等の関係もあるかと思うので、特に口頭でも言わないで良いと思うがどうか。

(異議なし)

以上で、地域活動支援事業の採択審議を終了とする。

【町屋委員】

先回の会議を欠席したため、いただいた資料だけで今回の会議に臨んだが、先回の会議で「ヒアリング団体なし」ということは聞いている。だが、今回、ピンマイクだけでもいろいろな意見が出ていたが、そういうことは本来、採点前にやるものなのではないか。

【青山恭造会長】

少し問題だったのは、先回の会議は「質問に答えていない」だけで終わってしまった。質問に答えていないのなら、再度投げ掛けなくてはいけなかったと思っている。

【町屋委員】

システム上、再質問が行われない以上、ヒアリングで解決するしかないと思っていた。私以外の方は、きちんと解決されてこの場に臨んでいるのかと思っていたので、先ほどこからいろいろな意見が出ていて不思議に思っている。

【田村雅春委員】

先回の会議でも、ピンマイクだけではないが、いろいろな意見が出ていた。その際、皆さんで話し合い、解決して採点したのだと思う。

【青山恭造会長】

ヒアリングの件に関しても、一人が来てほしいと言っているだけで呼ぶのか、ということもあるかと思う。

【町屋委員】

ヒアリングを実施しないということは、皆さんは、先回の会議で解決されているということだと思う。

【中澤委員】

やはり、これだけ議論されているということは、ヒアリングを行うべきだったと反省している。こちらの読み取り不足である。

ヒアリングの是非についても、過半数ではなく、複数以上の方が疑問を感じているのなら実施したほうが良いのではないか。

【増田副会長】

ヒアリングというのは、それを聞かないと点数を付けられないという場合に行く。「ここが分からないから会議の場に来て説明していただきたい」というだけでヒアリングは

実施しない。「これが分からないと点数を付けるのに困る、だからその点について説明していただきたい」という方が多ければヒアリングに来ていただき説明していただく。

回答に書かれていることに対して意味が分からない、というだけではヒアリング対象にはならない。

【町屋委員】

回答を見て皆さんの疑問が解決されたということか。

【増田副会長】

質問と回答を見て個々に判断した結果、ヒアリングを行わないという判断をしたので、それに対して何かを言う必要はない。

【磯田委員】

増田副会長の論理で行けば、ヒアリングをしなければ採択できないという人が一人でもいたら、やはりヒアリングをすべきだと思っている。ヒアリングをするか、しないかの過半数採択というやり方は、改めたほうが良いのではないか。この場で決めないと、また来年の採択審議の際まで行ってしまうから、これについては、今決めたほうが良いのではないか。

【田村雅春委員】

一人でも疑問に思っていることがあるならヒアリングをしたほうが良いという意見もあるかと思うが、皆さんと議論していく中で解決していくこともある。なので、ヒアリングをするか、しないかは一人ではなく複数にしていきたい。

【町屋委員】

質問に対しての回答を見ても納得できる人とできない人がいるが、それは考え方の根本が違うだけで、ここで協議していけば納得できることもあるのではないか。

【中澤委員】

少し議論がずれてきているが、要は、ヒアリングを行うためのハードルを少し下げたみてはどうか、という話をしている。

【泉委員】

このような議論はこの場だけではない。今まで何度か話してきた中での蓄積であって今に至っている。

【滝澤センター長】

事務局としても今までの経緯は承知している。その中で、磯田委員の意見については、

直江津区の採択審議、全てに関わってくることだと思っている。従って、来年度に向けての採択方針を決定する場で全体的に協議しなければ決まらないのではないかと考えている。

【磯田委員】

この場で決めたほうがいいのではないかと提案したが、来年度の採択方針を決める場を設けていただき、その場で議論を尽くし決めていただきたいと思うので、先ほどの提案は取り下げさせていただく。

【青山恭造会長】

承知した。

では次に3次募集についてだが、追加募集の際、残額があっても3次募集を行わないということを取り交わしている。従って、3次募集は行わないこととする。

(異議なし)

【荒木係長】

承知した。

- ・採択結果を受け、残額について報告

【青山恭造会長】

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・7月7日（金）に開催した視察研修の実施結果について報告

【滝澤センター長】

- ・旧直江津銀行の改修工事について報告

【青山恭造会長】

今回の協議会について再度事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案：9月26日（火）

【青山恭造会長】

— 日程調整 —

- ・次回協議会：9月26日（火）午後6時から

【中澤委員】

昨年、視察研修を2回行うと言っていたと思うが、開催するのか。

【荒木係長】

基本的には各区1回分の予算しかなく、明確な理由がない限りは難しい。

【青山恭造会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。